

井川スキー場腕山  
年末年始イベント  
スケジュール

12月

スノーボード  
Alpine-Style 無料体験会 16日~17日

アルパインスノーボードをもっと盛り上げていくという目的に賛同し、集まったメーカーなどによる無料体験会です。アルパインスノーボードの魅力を感じてみませんか。

お問い合わせ先▼SBJ AOSD 委員会  
☎ 03-5645-3355 <http://www.aosd.org>

クリスマスウィーク 18日~24日

期間中、毎晩ナイター営業を行います。  
また、23日の17時からはクリスマスイベントを行います。サンタさんが来場し、子どもたちにプレゼントを配ってくれます。大きなケーキもあります。

カウントダウン in 腕山 31日 17時~

ピアノ生演奏・豪華景品が当たるゲームコーナー。リクエスト曲やメッセージを受け付けて放送してくれます。午前0時には、新年を迎えると同時に花火を打ち上げます。

1月

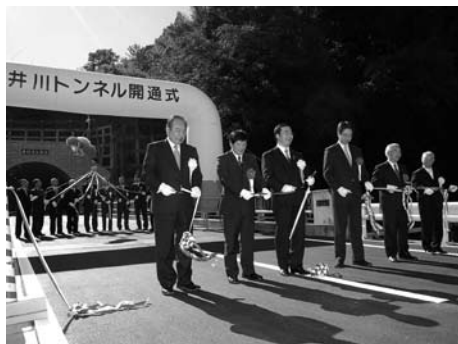
正月ナイター営業 1日~3日

期間中、毎晩ナイター営業を行います。

お問い合わせ先

井川スキー場腕山

☎ 78-3003 <http://www.ikawaski.jp>



**井川トンネルが開通**  
県が井川町に建設を進めていた県道・大利辻線辻バイパス井川トンネル(535m)が11月8日に完成し、地元住民や工事関係者ら約500人が開通を祝いました。  
国道192号側のトンネル入り口で行われた開通式には、飯泉知事や俵市長らが出席。知事からは「スキー場へのアクセス道や地元住民の生活道として重要な役割も持つ幹線道路。地域活性化に大きな貢献を果たすだろう。」などとして辞を述べられました。  
その後テープカットと同時に、くす玉が割られ、三好市役所連による阿波踊りを先頭に通り初めが行われました。



華やかにシユプール  
井川スキー場腕山  
オープン

11月17日、四国のスキー場のトップを切って市営井川スキー場腕山(井川町内)が営業を始め、県内外のスノーボーダーやスキーヤー約750人が今シーズンの初滑りを楽しみました。



た。スキー場は来年4月8日まで営業する予定で、四国内では最も長い営業期間となります。  
午後5時から行われた開幕式典では、元アルペンスキー日本代表の木村公宣さんと野戸恒男さん、三縄小6年生ら約30人がたいまつ滑走して祝いました。  
前日16日には、木村氏と野戸氏が三縄小学校と池田総合体育館を訪れ、講演や質疑応答などで児童やスキー愛好者との交流を図りました。



秋の叙勲

平成18年秋の叙勲受章者が11月3日に内閣府から発表され、三好市内からも各分野で功労を重ねた3人の方が受章の榮譽を受けられました。

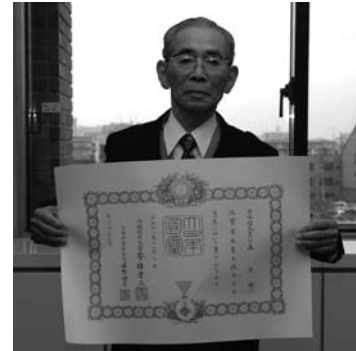
長年にわたる努力が認められて



旭日小綬章

地方自治功勞 西 徹さん

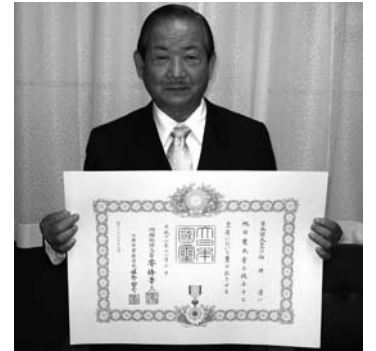
旧山城谷村、旧山城町職員を経て、昭和50年に地域住民から推されて旧山城町長に当選。以来、三好市発足までの間、30年10か月の長きにわたり町長として地方自治に尽力されました。



瑞宝単光章

統計調査功勞 森 光昭さん

昭和25年実施の国勢調査員に任命されて以来、55年を超える長きにわたり、連続して12回従事し、統計調査の第一線において、調査の円滑な実施と正確性の確保に尽力されました。



旭日双光章

地方自治功勞 向井 清さん

昭和42年旧西祖谷山村議会議員に当選以来、10期38年10か月の長きにわたり議長や各委員長などの要職を歴任し、たゆまざる研究と努力をもって議会の円滑な運営に尽力されました。

全国体育指導委員研究協議会 大分大会  
2006年11月16日・17日 【場所】: B-CON Plaza



全国体育指導委員功勞者表彰を受賞

11月16日・17日の両日、大分県で開催された全国体育指導委員研究協議会大分大会において、笠井一吉さん(池田町)が功勞者表彰を受けられました。

笠井さんは23年以上の長きにわたり池田町体育指導委員として勤続し、現在も市体育指導委員会会長も勤め、地域における生涯スポーツの振興に大きく貢献してきたことが認められたものです。



重要伝統的建造物群保存地区  
選定 1 周年記念シンポジウム



昨年12月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された東祖谷落合地区の選定一周年を祝うシンポジウムが25日、26日と2日間に渡って開かれました。

25日の探訪ウォーキングでは、ガイドの説明を交えながら貴重な建造物や石垣などを見て周りました。参加者は足の疲れを忘れ、興味深く質問をしたり、じっくりと見物をしていました。

26日のシンポジウムでは、落合重要伝統的建造物群保存協議会（南敏治会長）のメンバーや地域住民ら約120人が参加し、文化

庁文化財部の荻谷勇雅参事官をコメンテーターに、6人のパネリストが「秘境と平家落人伝説の残る山村集落を未来へ」をテーマにパネル討論しました。パネリストからは「住民が集落を今以上に魅力的なものにする気持ちが大切。その上で外部の力を取り込み、共同で保全していく仕組みを作らなければならぬ。」などの意見が出されました。また、地元落合小児童8人による学習発表会や、増井正哉奈良女子大教授と荻谷参事官の講演もあり、歴史的集落の保存の重要性を訴えました。

# 多彩なイベントで秋をつづる 三好市 秋の催し

広大で標高差のあるわが市は紅葉の时序も様々です。各地域では多彩な秋の催しが行われ、多くの市民が参加しました。それらのイベントをちょっとのぞいてきました。

## 市内各地で文化まつり

文化の秋、三好市内の各地で文化まつり等が開催されました。

11月11日と12日には、辻小学校（井川町）を主会場に「第25回なでしこまつり」が開催され、少林寺拳法演舞や各種発表会などが行われました。また地区対抗の演芸大会も行われ、楽しい出し物が会場の笑いをさそっていました。会場周辺では、バザーやスポーツ大会、各種展示等も行われ、多くの市民が訪れました。

11月12日には、山城公民館（山城町）で「第13回やましろ文化まつり」が開催され、芸能発表や作品展示が行われました。芸能発表には舞踊やコーラスなど59組が出場、作品展示



なでしこまつり



やましろ文化まつり

には和彫や盆栽など5団体の作品が展示され、日頃の練習の成果や自らがけた作品が披露されました。

11月24日から26日には「第19回池田文化まつり」が開催されました。主会場となった池田公民館（池田町）では芸能の部の発表があり、大正琴や三味線など13団体の発表がありました。また三好教育センターなど5会場では、生徒や各種団体の作品展示や茶席などが開かれました。

旧町村から続くこれらの文化まつりは、三好市になっても力強く引き継がれ、他の地区の演芸発表にも足を運ぶなど、これまで以上に人の交流が図られたようです。



池田文化まつり

## こども県展 三好巡回展はじまる



県内の小中学生が制作した絵画と書道の秀作を展示する「第2回県こども美術展（こども県展）」（同実行委、県美術家協会、徳島新聞社主催）の三好巡回展が11月11日、辻高校で開かれました。

準特選以上と特別企画部門のフレンドイツ賞に選ばれた作品、三好市と東みよし町内の児童・生徒の入選以上の作品の計266点を展示。川遊びや花火大会の思い出を独創的な構図で描いた絵や、躍動感あふれる書の数々に、訪れた保護者らが見入っていました。

## 三好市高齢者運動会



11月17日、池田総合体育館で三好市老人クラブ連合会主催の三好市高齢者運動会が行われました。

各地域から参加した8チーム、約400人は、ボールを渡してタイムを競う「ボール送り」や、三好市生活支援ハウスの方々が手作りした魚のぬいぐるみをつり上げる「魚つりレース」など、10種目を楽しみました。

「良い汗がかけました。来年も参加するのが楽しみです。」という参加者の元気な声を残して運動会は終了しました。

## 第8回大歩危観光ウォーキング



大歩危周辺の観光PRや健康増進などを目的とした大歩危観光ウォーキングが11月19日に行われ、市内外から参加した180人が紅葉に染まった大歩危峽をのんびりと歩きました。

受付時には雨もばらつき天候が心配されましたが、スタート後は雨も止み、参加者はそれぞれのペースでのんびり歩きながら色鮮やかな大歩危峽を満喫しました。ゴールのラピス大歩危ではお楽しみ抽選会なども行われたほか、一部の参加者は藤の里公園（山城町上名）で開かれた「妖怪もみじ祭り」などにも足を伸ばしました。

はや8回目を数えた今回のウォーキングは、健康志向によるウォーキングブームや紅葉に合わせた催しとあって、秋の恒例イベントに定着しています。